

学校教育課だより

# かけはし



平成二十九年度の教育展望

## 市民、社会総がかりの 教育実現に向けて

教育長 勝又 将雄



◆ 例年より少し遅れて桜満開の季節でした。入園式、入学式の希望にあふれた子どもたちの姿に学校も教職員も気持ちを新たにしたいものと思えます。

今年度より、市内小中学校は「新二学期制」へ移行しています。新しい教育課程編成は、「季節感」を盛り込んだものにしてほしいと要望しました。子どもたちは、新しい園・学校生活を送り、日々季節の風の中で一年間の「確かな成長」を図っていきます。温かな家庭教育を基盤として、素

直でたくましい子どもの育成  
明るく元気な学校づくりを意  
識して、教育行政も協力して、  
御殿場らしい「いい教育」に  
力を注ぎたいと考えます。

その根幹となる心構えを昨  
年度末に策定した『御殿場市  
教育振興基本計画』の巻頭言  
に下記のように書きました。

◆ 明るい話題も、切ない話  
題もあつた昨年度の教育界で  
す。

学ぶ子どもたちの成長と同  
時に、私たち教職員もお互い  
切磋琢磨しつつ頼もしい教職

学校教育課だより  
「かけはし」  
【第 1 号】  
平成 29 年  
4 月 28 日発行  
御殿場市教育委員会  
学校教育課

員へと成長していくことを期待しています。

子どもたちの安心・安全な園・学校生活を母体に、保護者、地域に「信頼」される園・学校づくりを目指して、いい教育にまい進したいと思えます。

＜第四次御殿場市総合計画＞の中で御殿場市は、  
＜真の子育て支援、日本一＞を発信しています。県内  
では先駆けとなる市、市民総がかりの「いじめ防止  
基本方針」や「子ども条例」の策定もそうした一連  
の取組に位置付けられています。それゆえに、御殿  
場市は「子どもにやさしいまち」を標榜しています。  
子どもたちの健やかなる心身の成長の中にあつて、  
確かな学力を身に付け、自分の未来の幅を広げてい  
くことは学校教育の根本原則です。子どもたちには、  
「真っ当な大人になってほしい」。保護者、教育  
者だけでなく、この地域の人々の切なる思いだろう  
と思います。同時に、子どもはそうした大人の背中  
を見て育ちます。やはり教育は「大人の責任」です。

今、教育の不易と流行を受け止めるとき、この北  
駿の教育風土は先人の長い間の地道な努力のもと  
に、誇り得る歴史的な足跡を重ねてきています。風  
土工学者の言葉に「景観十年、風景百年、風土千年」  
の言葉があります。風土は千年です。子育てに促成  
栽培はあり得ません。時間がかかります。短期間の  
費用対効果も望まません。しかし、それゆえに、「子  
育て」、「人づくり」への思いは有史以来、人間社会  
構築の根幹といわれます。つまり、教育への投資と  
は、子育ての「未来投資」にほかなりません。「教  
育とは未来を語ること」に尽きます。

国の教育改革の流れの中にあつて、教育基本法の  
改正をはじめ各種改革が積極的に取り組まれてい  
ます。社会全体の変化の中で、18歳から選挙権も  
付与され、成人の概念も変容しています。

加えて、新学習指導要領も 2020 年の完全実施を展望し  
ています。子どもたちの「育ち」の姿を、家庭、学校、地域  
が共有しつつ「誠実なる」人間に育ててほしい。何より、「学  
び続ける」生涯学習の生き方姿勢を基本として、本物の大人  
に成長してほしいと願うのは万人の思いです。ふるさとの未  
来を担うのは子どもたちです。御殿場の教育を確かなもの  
にするためにも、学校教育、家庭教育だけでなく、「社会総が  
かりの教育」を強く意識します。

それゆえに、本市では、義務教育小・中 9 年間に、入り口  
の幼児教育 3 年間の連携・一貫教育を据え、さらに地元高等  
学校との連携を視野に入れた「御殿場市の教育」10 年展望  
を持ち、ここに本市の根幹となる『御殿場市教育振興基本計  
画』を策定しました。市民、社会総がかりの教育実現に向け  
て、明確な未来への志をもって踏み出すために、平成 29 年  
度から 32 年度を見据えた本市の教育の姿をイメージでき  
るものとなっています。

今、これから、新しい一歩を踏み出すのは、他人でなく、  
「わたし」であり、「わたしたち」です。目標に向かって、  
社会総がかりで歩みを始めます。

## 教職員の喜びを感じられる



### 日々にしたい二十九年度

教育監兼学校教育課長兼教育指導センター所長

勝亦 重夫

今年の春は寒暖差が激しく、桜の開花の時期は一週間以上も例年より遅くなつてしまいました。しかし、開花を待っていた分、四月中頃には桜満開となり心がほっこりとさせられました。

新年度が始まってから雨の日が多く、子どもたちの登下校を心配していましたが、新一年生も、雨に負けず毎日しっかりと休まず登校しています。というお話をいくつかの学校からいただきうれしく感じています。

さて、今年度は平成十八年度に導入された「二学期制」から「新三学期制」に移行される大きな節目の時です。今年度の教育課程の編成では、各学校で行事の時期や持ち方など、今まで以上に丁寧に見直しや検討を行ったと思いま

す。季節感のある、子どもの学びが充実した学校運営が行われることを期待します。十分に検討してみても、実際に運用してみると計画どおりにいかなかったり、課題が出てきたりすることが予想されます。短いスパンでのPDCAサイクルを試みるなど「評価」や「改善」を意識し、よりよい学校づくりの推進をお願いいたします。

また、三月末に告示された新学習指導要領の実施を視野に入れた取組も必要となります。「社会に開かれた教育課程」「主体的・対話的で深い学び」といったキーワードが示されています。新三学期制とリンクさせながら、各学校で工夫した取組をお願いいたします。一本足打法・ホームラン王として知られている、福岡ソ



フトバンクホークス会長「王貞治」氏を指導した「荒川博」さんが昨年亡くなりました。荒川氏は生前こんな話をしていました。「指導者として大切なものは我慢。同じことを十回や百回言つてよくなるものではない。しかし、楽しい、うまくなるのを見るのは。」

この言葉は、子どもたちを教え導く教職員としても大切なものであると思います。一言、言つてできるようになれば、何も苦労はありません。何度も我慢をして地道な繰り返しの中で、子どもたちは多くのことを学びそして成長していきます。子どもたちの成長は、子どもたち自身の喜びであると同時に、私たち教職員にとつても大きな喜びです。新年度を迎えました。心新たに、子どもに寄り添った学びが、それぞれの学校・園で繰り広げられることを楽しみにしています。

## 市教職員着任式

四月三日、二十三名の新規採用職員の方を含む、総勢四十六名の教職員の皆様を御殿場市にお迎えすることができました。

皆様お一人一人のよさを十分に発揮していただき、チーム御殿場で元気で活力のある、信頼される学校づくりを目指していきたいと思えます。



## 転入者代表挨拶

南中学校 校長  
芹澤 照平

本日は、年度当初のお忙しい中、私たち転入教職員のために、このような式を開いていただき、心より感謝申し上げます。

個人的には、四年ぶりの御殿場市への帰任となりました。勤務先であった清水町では、地域ぐるみで学校づくりを推進する学校運営協議会を通じた「チーム学校」の体制づくりや、静岡県教育委員会が推進する「未来の学校『夢』プロジェクト」事業のモデル校としての教職員の多忙化解消働き方改革など、これからの学校運営の指針となる貴重な経験を積むことができました。赴任先である南中学校では、それらの成果を上手に取り込みながら、学校運営に当たっていききたいと気持ちを新たにしています。とは言いながら、私たち教職員はまだまだ未熟であり、皆様からの御指導、御鞭撻をお願いいたします。最後に、教育公務員としての使命と責任の重さを肝に銘



じながら、一日も早く、御殿場市の教職員として認めていただけますよう、全力で職務に専念することをお誓いし、転任教職員代表の挨拶とさせていただきます。

## 初任者代表挨拶

御殿場南小学校 教諭

大竹 実河子



うらかな日差しに春を感じる本日四月三日をもちまして、私たち二十三名はこのよき地、御殿場市の教職員となります。これまで目指してきた教職員という仕事に就くことができ、期待に胸を膨らませていきます。これから赴任いたします学校で出会う子ども

たちの姿を思うと、大きな喜びがあります。同時に、子どもたちの教育に関わることに教職員としての大きな責任を感じています。

私は一昨年実習生として、初めて子どもたちの前に立ちました。その中で、子どもたちを想い、授業を作ることの楽しさや大切さを学びました。反面、どれだけ教材研究や下準備をしても思い通りの授業にならないこともあるという難しさも実感しました。また、多くの先生方の授業を参観させていただき、授業にかける情熱や、子どもたちのできるようになりたいという願いを肌で感じたことは、強い刺激となりました。子どもたちの成長や喜ぶ姿を見ることは生き甲斐となるに違いない、と感じました。実習を経て、教師という「職業」を選択するというよりも、教師という「生き方」を突き進んでいこうという覚悟が生まれました。どんな時も子どもの手本となり、信頼される存在でありたいと思います。

私事ですが、私は大学時代にボランティアとして、大震災の被害を受けた東北の地を

二度訪れ、漁業の手伝いをしたり、子どもたちの心のケアをしたりしてきました。生活を共にする中で聞いた被災地の方々の、「辛く苦しい状況を私たちがまず乗り越えなければ復興は進まない」という前向きな言葉が忘れられません。私たち二十三名にも、こればかりでなく、辛く苦しいことが待ち受けているはずですが、しかし、夢をもって教師という道を選んだのですから、すべてを受け止め初心を忘れず、乗り越えていきます。

私たちは授業の技術や生活指導等、ベテランの先生方には及びませんが、一生懸命に頑張る姿で子どもたちを導いていきたいと思えます。そして、志をもって、先輩方の動きや子どもたちの言動から学び、困ったときは一人で悩まず先輩方に「指導を仰ぎ、絶えず研鑽と修養に励んでまいります。一年後には、教育長様のご講話の中にもありました、「いてほしい先生」になり、更には「いなくてはならない先生」へと成長できるように、勇往邁進、取り組んでいく決意です。

最後に、子どもたちが笑顔でいきいきと生活できることを心から願い、成長の手助けができる教職員となれますよう、皆様方のご指導とご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

## 学校教育課

### スタッフ紹介

今年度の学校教育課スタッフを紹介いたします。新しいスタッフは、写真付で紹介いたします。一年間よろしく申し上げます。

#### ◇【主席指導主事

渡辺英一郎】



本年度よりお世話になることになりました。長泉町から御殿場市に通い続けて六年目、主に教職員（臨時講師や非常勤職員）の任用関係、教育フ

ォーラム等を担当します。学校と教職員が、相互に満足感を抱けるような仕事をしたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

#### ◇【統括 府川健作】

学校教育課で二年目となりました。主に就学援助関係を担当します。国の将来を担う子どもたちが、まっとうな大人として成長できるように、肩肘張らずに頑張ります。昨年度に引き続きどうぞよろしくお願いたします。

#### ◇【指導主事 丹澤謙志】

本年度より学校教育課の一員となりました。研修、学級、図書館等を担当します。御殿場市の子どもたちが、笑顔で充実した生活が送れるよう努力していきます。よろしくお願いたします。



◇【指導主事 秋岡智子】

本年度も学校教育課でお世話になります。昨年度に引き続き、主に特別支援教育、就学支援を担当します。子どもたちが生き生きと生活できる学校のお手伝いができればと考えております。よろしくお願いたします。

◇【指導主事 石田善正】

一昨年度、昨年度に引き続き、学校教育課でお世話になります。主に生徒指導、定数、国立教育政策研究所調査研究などを担当します。先生方が子どもと向き合う時間を少しでも多く生み出せるように業務をすすめます。よろしくお願いたします。

◇【教育指導センター 室長 高橋正彦】

教育最前線に立つ学校現場の先生方の手助けができたらと思っております。先生方と共に、学んでいくつもりでやっていきたいです。よろしくお願いたします。



◇【教育指導センター 主任指導員 瀬戸亮策】

教育指導センター指導員として今年度からお世話になります。園児から一年生への滑らかな接続を図るために、幼稚園と小学校を訪問させていただきます。一年生が笑顔で登校できるよう頑張ります。よろしくお願いたします。



◇【教育指導センター 指導員 湯山伸彦】

教育指導センター指導員として、度々学校にお邪魔します。若い先生方の教師力向上や授業改善に向けて、少しでもお役に立てるよう渾身の力を振り絞る所存です。よろしくお願いたします。

◇【教育指導センター 指導員 岩田京子】

二年間の指導員生活を通して、既存の知識・理解は消耗することを痛感しました。だから教師は学び続けなければならないですね。若い先生方に負けないように自己研鑽に努めたいと思います。よろしくお願いたします。

◇【教育指導センター 指導員 芹澤ゆき子】

子どもたちが、毎日の学校生活を、笑顔で生き生きと過せるよう、持ち前の動物的勘と幼稚園で培った体力と強い思いを持って、お役に立てるよう、一生懸命努めます。よろしくお願いたします。

◇【主事 渡邊真衣】

いつもお世話になっております。新規採用職員として学校教育課へ配属になり、二年がたちました。至らぬ点多々あつたかと思いますが、皆様のご指導・ご協力のおかげで無事三年目の春を迎えることができました。今年度もどうぞよろしくお願いたします。



◇【主幹 高村千代子】

はじめまして。この四月からお世話になります。二十二年目にして、初めての教育委員会への異動。わからないことばかりですので、皆様からのご指導をいただければと思っております。一年間よろしくお願いたします。



◇【副主任 勝間田哲哉】

学校教育課四年目となりました勝間田です。今年度も引き続き学校保健を中心に、先生方が安心して、子どもたちの安心・安全を守るお手伝いができるよう努力してまいります。よろしくお願いたします。

◇【教育相談員 勝又和代】

教育相談員として三年目になります。学校は無理でも図書館には行けそうという子どもたちに対応しております。子どもと保護者の気持ちに寄り添い、精一杯の支援をしていきたいと思っております。よろしくお願いたします。

◇【巡回指導員 瀬戸祐子】

児童生徒の「困っている状況」を理解し、その子の特性に合った支援方法を先生方と共に考えていきたいと思っております。保護者の相談も行います。各学校の要請に応じて伺いますので、声をかけていただきます。と思います。

